片貝新聞

発行所
片貝新聞社
〒947-0101
小千谷市片貝町10367-4
TEL 0258-84-3246
FAX 0258-84-2632
編集発行人 吉原芳郎
印刷所 吉原印刷㈱

題字 黒崎敬湶氏

JA片貝町
シンボルマーク
天の恵み地の恵み

JA片貝町 東京で大活躍

・独自で開拓の高島屋で確かな手応え
・杉並では東京片貝会々員の差し入れ

JA片貝町は市、サンプラザ、JA小千谷市と一緒に「ふるさとプラザ出店協議会」を組織して、首都圏での物産販売や都会人を小千谷に招いての田植えツアーや稲刈りツアーなどを積極的に展開している。去る9月26日にはJA片貝町が独自に開拓した人脈を頼りに、東京の高島屋新宿店で、コシヒカリのPRを行なったところ、大反響で「今後のやり方次第ではかなり期待出来る」と確かな手応えを感じとっている。また、今年四年目を迎えた「すぎなみふるさとまつり」では、魚沼産コシヒカリが抜群の人気で、今年も大盛昌だった。

高島屋でPR
手応え上々 今後に期待膨らむ

小千谷市ふるさとプラザ出店協議会（JA片貝町、JA小千谷市、サンプラザ市の4者で構成）は、9月26日午前10時から午後6時まで、東京新宿の高島屋新宿店入り口前で、新米魚沼産コシヒカリのPR実施。

この催しはJA片貝町が人脈を頼って開催にこぎつけたもので、当日用意した七百枚のPR用パンフレットは早々に底をつき、急きょ数百枚コピーして対応。

会場には魚沼産コシヒカリのハサを架け、米俵を積み、先日の池津ジャンボかぼちゃコンテストのかぼちゃを展示するなど〝田舎〟を演出して、収穫したての魚沼産コシヒカリの試食の時間帯になると黒山の人。地酒と共に大好評。

「各種観光ポスターなども掲示して、観光PRを行ったが、一番人気は実物大の四尺玉の大玉」と関係者。

今回の企画の中心的役割を果たした友田明石JA片貝町組合長は「大都会のパワーを感じ、反響の大きさと手応えをつかんだ。今後は行政と力を合わせて進んで行けば、かなり期待出来る。又、大勢の片貝出身の方がお見えになっていました。有り難いことです。」と手応えと抱負を語っていた。

◀高島屋新宿店

すぎなみまつり
コシヒカリ飛ぶような人気

第10回すぎなみふるさとまつりが10月9、10の両日東京杉並区の和田堀公園野球場で開催された。

この「すぎなみふるさとまつり」には、小千谷学生寮が杉並区井原に存在することが縁で、平成8年から特例として参加が認められ小千谷市ふるさとプラザ出店協議会（JA片貝町、JA小千谷市、サンプラザ、小千谷市で構成）が収穫したての魚沼産コシヒカリ、秋野菜、清酒、菓子等を小千谷市物産コーナーで販売。

「二日間で十数万人の人出で賑わい、魚沼産コシヒカリや秋野菜などが飛ぶように売れた」と関係者。

JA片貝町は今年も参加して、小千谷市物産コーナーで魚沼産コシヒカリを販売、昨年同様あらかじめ東京片貝会メンバー三百名にでふるまわれて新米は二俵。またサンプラザが出品した片貝物産も好評であった。

当日現地に出むいた担当者は「二日間とも好天にめぐまれ、広い会場は大変な賑わい、東京片貝会のメンバーも大勢訪れ、中には差し入れ持参の人もおり、スタッフも感激、お陰さまでJA片貝町の新米魚沼産コシヒカリも飛ぶように売れました」と笑顔で語っていた。

◀すぎなみふるさとまつり

「一合升すくい取り券」を同封したダイレクトメールを郵送した。

今年も小千谷の物産品を千円以上買物した人に魚沼産コシヒカリのすくい取りを実施したところ大人気となり、今年小千谷市物産コーナーの一合升すくい取り

主張

ディホームと介護保険制度

鳴り物入りではやしたてていた介護保険もここにきて少し雲行きが怪しくなり、この分で行くと来年四月実施は困難な様相を呈してきた。今後各政党間でどう話し合われ、どう決着するかは人ごと出はなく、高齢化社会を迎えているこの片貝にとっても重大な問題であり、成り行きを静かに見守りたい。

ところで平成八年多くのボランテアにより発足した「ディホームかたかい」も、出足は順調で発足当時三百名にものぼる登録者があり、利用者に大変喜ばれてきたが、予算不足でこのところ運営が難しくなってきており、何らかの方策を考える時期にきているようだ。

これも最初は市が県の補助事業「コミニュティディホームモデル事業」を受け、この片貝に白羽の矢が立って立ち上がったもので、スポーツの場合もそうであったがとかくこの手の事業は補助金のでているうちに確立しないと、その期間中だけの活動となり、その後の運営は余程行政が手を入れてくれないと、何処もそうだがなかなか進展しにくい。

国や県はこうしたモデル事業を行ない、年毎に地区を変え広く普及するよう狙ってもそんな短期間の補助事業では軌道にのるところまでは行かず、僅かに部品の数点を整えた程度で、その後の活動はさっぱりということになりかねない。といってここで国や県の政策を責めてみたところで解決する話でもない。

しかし片貝も老人夫婦二人だけという世帯が増えつつあり、住む人もなく虫食い状態の街並になり、商店街として成り立たなくなってきており、確実にしかも急速に老齢化社会が迫ってきている。

こうみると老人は全く世を捨てた不要の長物のように見えるかも知れないが、そこは発想の転換が必要で、確実に老齢化が進むということはそれだけ老齢人口が増えるということになり、老人力というかそうした力が結集できる環境が整えつつあるという、プラス指向をもつべきだと思う。

老後を慮り病気になった場合の対応を心配するのも大切だが、逆にどう老後を楽しみ、健康で病気にならない方法も同じように考えたいものである。

幸い年金制度も確立してきており、まだすったもんだやっているとはいえ、そう遠くない将来介護保険も国会を通り、快適とは言いがたいものの少し我慢をすれば、今までの年寄とは違いそこそこの生活は出来るようになっている。

これからは老人力で多少の金も力も出しあってあの片貝祭りでの爆発的なエネルギーを放出したきた経験者でもある。やろうとさえ思いば成就出来ないことはないはずである。

いま巷では青少年の軟弱化が問題になっており学校教育の改革も叫ばれている。こうした一連の諸問題はいまや人口のかなりの部分を占める六十才以上の力によって正常な国の形に戻してほしい。片貝でもこうした老人パワーに期待している人の声も増えてきている。

町民運動会 四之町優勝
雨で屋内、でも盛り上がる

第53回町民大運動会（スポーツフェスティバル）が片貝町協議会、片貝公民館主催、片貝町体育協会主管で10月17日(日)午前9時から片貝中学校体育館と片貝スポーツセンターの二会場で開催された。

当日は朝からの雨で肌寒い一日であったが、昨年同様個人競技はなく、五種目の団体競技に、七町内から四百名前後の選手が参加して熱戦が繰り広げられた。

片貝中学校体育館で行われた四種目の団体競技ではビンづめレース＝四之町チーム、大なわ飛び＝四之町チーム、百足リレー＝四之町チーム、綱引き＝二之町チームが一位。また、片貝スポーツセンターで行われたゲートボールでは一之町チームが一位。総合優勝は三種目に一位となった一昨年、昨年の覇者四之町チームの三連覇でスポーツフェスティバルは終了した。

競技終了後毎年恒例になっている、全員参加のクイズ大会が行われ、今年は小比田明さん（鴻巣）が一位となり賞品の空気清浄器を獲得した。

大会の結果は次のとおり

▽**総合**＝①四之町、②二之町、③一之町、④三之町、⑤五之町、⑥町裏、⑦鴻巣

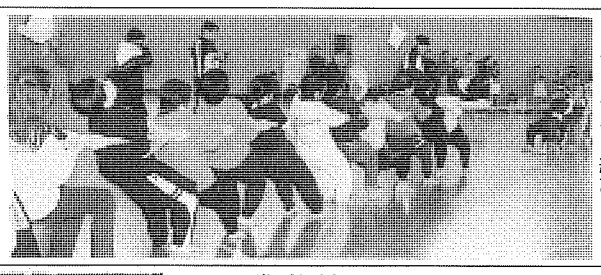
▽**ビンづめレース**＝①四之町、②三之町、③町裏、④二之町、⑤五之町、⑥鴻巣、⑦一之町

▽**大なわ飛び**＝①四之町、②二之町、③五之町、④一之町、⑤三之町、⑥町裏、⑦鴻巣

▽**百足レース**＝①四之町、②五之町、③二之町、④三之町、⑤一之町、町裏

▽**綱引き**＝①二之町、②三之町、③町裏、④一之町

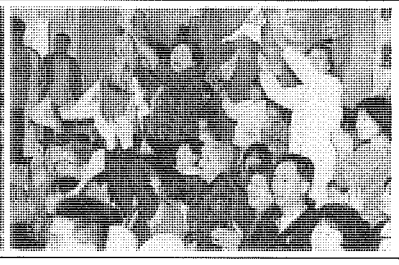
▽**ゲートボール**＝①一之町、②四之町、③町裏、④五之町、⑤鴻巣、⑥三之町、⑦二之町


◀オーエス！綱引き

▶何回跳べるか！

バスケ小千谷カップ
片貝中全勝優勝

第3回バスケットボール小千谷カップ（市バスケットボール協会主催）が去る9月25・26の両日小千谷市総合体育館で開催され、中学生の部で片貝中学校が優勝した。


◀盛り上がる応援席

▶片貝小も大活躍

鱗波会秋季魚釣大会

片貝鱗波会（会長鈴木義隆）主催の第百七十二回秋季釣魚大会が去る9月26日(日)午前6時から午後3時まで、信濃川、渋海川、須川、焼田川等片貝周辺の河川、沼等で開催された。

当日は朝早くから35名の太公望が参加し、腕を競いあい、佐藤修さんが総合優勝した。成績は次のとおり

▽総合＝①佐藤修（屋敷）七キロ五六〇グラム、②丸山隆夫（一之町）六キロ八六〇グラム、③本田勝司（町裏）六キロ六二〇グラム、④藤野弘一（茶畑）六キロ四二〇グラム、⑤神林誠一（高見）五キロ三八〇グラム、⑥大矢賢三（茶畑）四キロ五六〇グラム

▽大鯉賞＝本田勝司（町裏）三キロ一四〇グラム

▽大鮒賞＝黒崎庄之輔（三之町）四四〇グラム

▽大鯰賞＝小宮正春（町裏）一キロ五二〇グラム

なお、片貝鱗波会では、3日の文化の日午前6時30分から午後3時まで、信濃川、渋海川、須川、焼田川等を会場の第百七十三回の釣魚大会を開催。「当日も千五百円で参加できますので、会員以外の方も大歓迎です」と鈴木会長。詳しいことは片貝鱗波会へ。

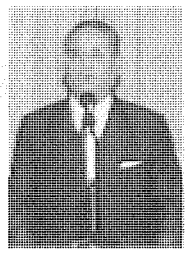
▼**総合文化展2、3の両日**＝片貝公民館主催、片貝町協議会後援、片貝総合文化展実行委員会（幹事長小宮隆夫）主管の第20回片貝総合文化展が2、3の両日片貝ふるさと会館で開催される。▽2日(火)は午前9時30分～午後9時、▽3日(水)は午前9時～午後4時迄。

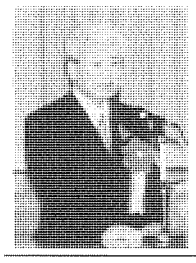
▼**町民駅伝14日**＝来たる14日(日)午前10時から第20回片貝町々民駅伝大会（片貝町体育協会、片貝町公民館主催）が開催される。この駅伝大会は勝敗もさることながら、毎回参加することに意義を求めたチームが多い。参加資格は、片貝出身者、在住者及び片貝にある事業所に勤務するもの。コースは例年と同様。当日は雨天決行、10時、花火の合図でスタートとなる。

かたかい春秋

収穫の秋を迎え、何かしら心弾む思いで過ごしていたら、早11月となってしまった。晩秋であり、秋の陽はツルベ落し、日が短くなり、冬近しをひしひしと感じる季節となった。▼JA片貝町が元気がいい。今号一面のトップ記事にあるごとく、東京に出かけて相次ぐイベントを実施して、いずれも成績が良いというから、片貝人としては嬉しい限りである。▼高島屋新宿店での魚沼産コシヒカリPRは、すごい反響だったという。これはJA片貝町が独自にきり開いた人脈により、開催にこぎつけたものだ。日本一乗降客の多い新宿駅、その新宿駅から高島屋新宿店専用通路の出口である店の前でのPRだったから、用意した数百枚のパンフレットは早々になくなった。新米コシヒカリの試食には長い列が出来て、PR作戦の効果があり、後日注文がかなりあった。今後のやり方次第では大いに期待が膨らむところ。▼すぎなみふるさとまつりは、例年どおり盛況だった。ここでもJA片貝町は、事前に東京片貝会メンバーに、ダイレクトメールで出店を知らせておいたところ、杉並区外からわざわざ駆けつけて来る人が多く、中には差し入れ持参者も。他には見られないふるさと片貝への思い入れであり、地元との団結力を思い知る。▼過日、JA片貝町の関係者が「市内経済人の大物が、〝片貝町のコシヒカリは魚沼産でない〟と発言したという」とプリプリと怒っていた。それが事実だとしたら、大変な誤解であり、失礼であり、断乎として抗議すべきであろう。▼文化の秋、スポーツの秋でもある。総合文化展、駅伝も間近い。読書の秋でもある。深まり行く秋を、充分に満喫したいものである。

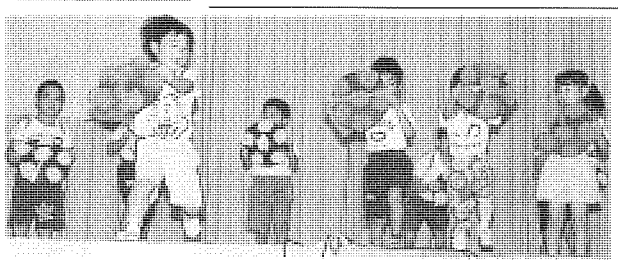
元気で長生きしてね！
大々的に敬老会を開く
多彩なアトラクションも





片貝町協議会主催（会長吉井陽）の平成11年度片貝地区敬老会が去る10月3日午前10時から片貝小学校南運動場で開催された。

本年度の対象者は九百六十二名のうち、雨降りの悪天候の為か五百名前後の出席。式典では吉井陽協議会々長挨拶の後、今年喜寿を迎えた品田健一さん、芝イツさん他五十六名（昨年42名）に対して、関市長から褒状、金杯等が手渡された。また市長は挨拶の中で「来年4月から介護保険が実施されるわけでありますが、その介護保険の厄介にならないように健康に注意して、元気で長生きをして、片貝町の町おこしの手助けをしてください」と激励。来賓のお祝いのことばの後、被表彰者を代表して安達常造さんがお礼の言葉を述べた。

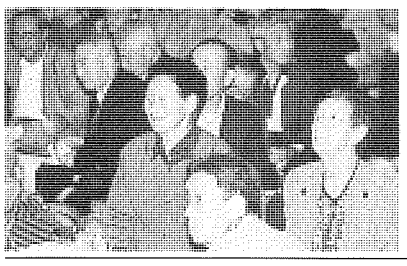


吉原正幸市議の音頭で乾杯の後、片貝保育園児の遊戯でアトラクションが始まり、片貝小学校の合唱、ヤヨイ太学民踊部、めぐ美会、三友会、民踊の会等の演芸があり、最後は片貝伝統芸能保存会の木遣り…と参加は初秋の一日を楽しんだ。

なお今年米寿を迎える明治44・45年生れの方々は次の17名。

▽片貝町最高齢者＝堀井トヨノ（100才、町裏）

▽95才＝黒崎美成、佐藤友枝、吉原イネ、横山誠策

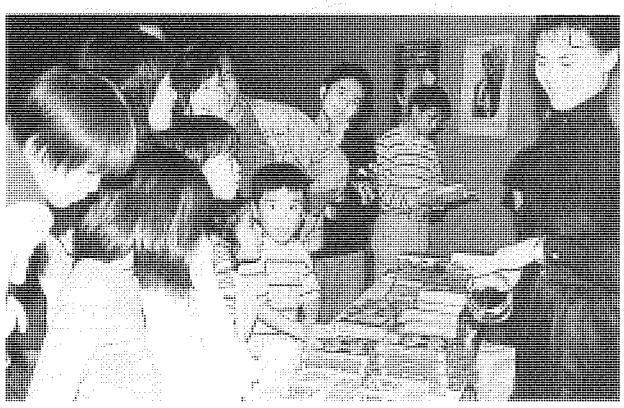


▽88才＝諸我ハナ、本田勇太郎、品田トウ、太刀川ハマ、小林八重、佐藤健次、小宮六松、大矢マツ、黒崎イク、伊藤ムメ、三重堀テル、大塚フヂノ、小林吉次、阿部ケイ、吉原キヨ、本田カネ、高野武

ジョージ・本田の
華麗なマジックショー
片貝中同窓祭盛況

片貝中学校同窓会と第9回片貝中学校同窓祭が去る10月3日(日)午後6時から片貝中学校体育館で開催され、同窓祭の中で片貝中学校第18回卒業生で、現在プロのマジシャンとして、世界各地で活躍している、ジョージ本田さんこと本田正次さん（沼田、永遠会）のマジックショーが開催された。

この催しは、第21回卒つどい会と第33回卒さざなみ会が実行委員会（委員長浅田広明第21回卒、副委員長山賀基良第33回卒）を組織して、諸準備を行い実現したもので、当日は会場の片隅で、午後5時からジョージ本田&エンターティナーズが行ったマジック用品の実演販売には大勢の人が集まり大変な人気。同窓会の総会は午後6時から始まり事業報告、新役員の紹介等があり、午後6時30分近くになると、世界トップクラスのマジックを一目見ようと会場の片貝中学校体育館は同窓生及び町の人達でぎっしりとなり、ジョージ本田マジックショーの開演。本格的な照明と音響を使用した中で、華麗で本格的な演技。鮮やかなテクニックを駆使してのファンタスティックなマジックと大仕掛のマジックを次々と披露して会場を訪れた人々を驚きと不思議の世界にみちびき、大きな夢をあたえていた。ジョージ本田さんは挨拶の中で「マジックのオリンピック大会に出場して、一位になり金メダルが取れるよう努力しますので、片貝の皆さんのご声援を」と語る。



▶グッズ販売も人気呼ぶ

なお、片貝中学校同窓会の新役員は次のとおり。

▽会長＝浅田正平（23回卒）

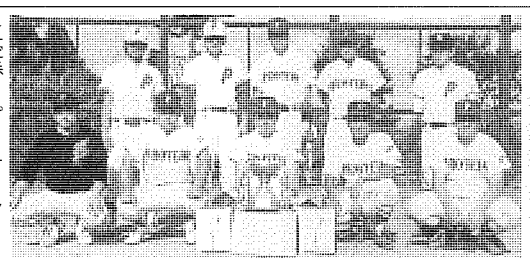
▽副会長＝吉原正幸（18回卒）、小野塚昇（25回卒）

▽事務局長＝久賀透（33回卒）

▽会計＝山口巧（34回卒）

▽事務局＝浅田功（24回卒）、安達富弘（26回卒）、吉原美奈子（34回卒）、相崎貴子（36回卒）、相崎秀人（40回卒）、吉原正明（40回卒）

第19回議員団野球大会
・プロテインが優勝
・安達、吉原両市議が始球式



▶優勝　プロテイン

第19回片貝議員団杯争奪野球大会が片貝町野球連盟（会長太刀川忠雄）の主催で開催された。

当日は好天に恵まれて、安達稔市議がピッチャーを行い、吉原正幸市議のキャッチャーの始球式。毎年議員の代表1人だけがピッチャーを務めていたが、今年は議員2人でバッテリーを組んでの始球式となり長い歴史の中で今回初めてのこと。（写真下）3チームによるリーグ戦が行われ、第一試合のロイヤル対レッドスネーク戦でロイヤルの太刀川孝紀投手（二之町）が今季初のノーヒットノーラン試合を達成した。また優勝したプロテインチーム（写真上）はレッドスネークスを2対0、ロイヤルを14対0で敗り2戦2勝で議員杯を獲得した。プロテインの登録メンバーは次のとおり。

▽監督丸山英男、主将吉原章、米山雪絵、阿部和行、佐藤公一、吉原晋、浅田誠、吉井克幸、木村信也、芝直樹、内山貴光、浅田進一、和田悟、岡慶彦、芝昭男、岡村満、吉原隆、安達武

新人戦　片貝健児頑張る
バスケ、バレーで優勝

市内中学校新人大会（市中体連主催）が去る9月28日市内各会場で開催された。

片貝勢では、片貝中学校体育館で開催されたバスケットボール大会で、片貝中が東小千谷中を37対35、小千谷中を54対25で敗り優勝。また小千谷市総合体育館メインアリーナで開催されたバレーボール大会でも片貝中は小千谷中を2対0、東小千谷中を2対0、南中を2対0、千田中も2対0で敗り優勝。片中の成績は次のとおり。

【陸上競技男子】

▽百m＝③吉井泰行

▽二百m＝④吉井泰行

▽八百m＝④本田龍輔、⑤安達啓介、⑥浅田宏和

▽4×二百mリレー＝③片貝

▽砲丸投＝③山口福太郎

【バスケットボール】

▽一般の部＝①片貝（安達勇二郎、藤塚明史、小比田俊樹、吉井亨、吉原洋、小野塚昴平、石上崇博、佐藤洋平、吉田豊、安達富昭、山田貴弘、黒崎諒、高野克也、大矢智史、小林孝広

▽交流の部＝②片貝

【バレーボール】

▽①片貝（浅田沙織、浅田千智、金子沙友里、山賀沙織、安達夕貴、友田宏美、安達彩乃、小宮志織、芝美波、高橋ひと美、安達千紘

【野球】

▽②片貝

【ソフトテニス】

▽団体戦＝②片貝

▽個人戦＝目崎・大平組ベスト8

【卓球】

▽団体戦＝③片貝

▽個人二年の部＝②石上麻依子、③浅田時枝

▽個人一年の部＝②佐藤美希、③安達加代子

▼5日忍字亭で「そばづくり」＝片貝公民館主催の高齢者学級ヤヨイ大学の「そばづくり」講座が5日(金)午後1時30分から、ふれあい公園・忍字亭で、講師に浅田嶺義さんと友田善意さんを招き開催される。

小学校親善陸上大会
片貝小の3人が優勝

新潟県小学校親善陸上大会第40回小千谷大会（県小体連、市教委、市小体連主催）が9月30日、白山運動公園陸上競技場で開催された。同大会は22日に予定されていたが、雨天のため一週間延期となったもの。この日も終日降ったり止んだりの悪コンディションにもかかわらず、四百八十五名の選手達が熱戦を繰り広げた。片貝勢では、男子幅跳びで堀井洋平（池津）4m46、女子高飛びで吉田真理恵（池津）1m20、女子ソフトボール投げで大矢洋美（四之町）大会新の48m06の3種目に優勝した。片貝小学校の成績は次のとおり。

▶堀井洋平君

【男子の部】

▽百m＝⑥佐藤創15秒2

▽千五百m＝⑤神林和也5分24秒0

▽八十mH＝⑩芝大輔15秒2

▽幅跳び＝①堀井洋平4m46、③安部潤樹3m95、⑩捧貴広3m48

▽ソフトボール投げ＝⑧石黒雄次郎47m27

▽4×百mリレー＝片貝

【女子の部】

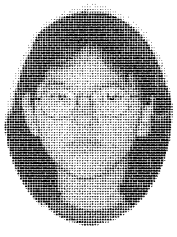
▽百m＝③吉井里美15秒7、⑨山口麻美16秒7

▽八百m＝④山賀春美2分51秒6、⑤吉井裕美子2分55秒1

▽幅跳び＝②本田愛美3m50、⑤大塚郁恵3m15、⑦佐藤理恵3m04

▽高飛び＝①吉田真理恵1m20、③藤塚由未1m15

▽ソフトボール投げ＝①大矢洋美48m06（大会新）



▶吉田真理恵さん

▶大矢洋美さん

片貝ヒューマンウオッチング
民踊名人の安達良太さん

民踊で活躍中の安達良太氏（64、八島）に登場願った。

踊りのことを紹介する前に、まずは〝戸籍調べ〟。長女は結婚して五之町に住み、次女はアメリカで切手の絵などを書きながら勉強しており、長男も昨年結婚して東京住まい、よって現在は奥さんと2人暮らし。

農業を生業（なりわい）とし、冬は酒屋で働く。岐阜、茨城、三重などで20数年間出稼ぎ、そして朝日酒造に入り今年で25年目を迎える。

盆踊りを覚えたのは小学生4年の頃、そして6年の時には村のお祭りで踊るのがおもしろくてしょうがなくなっていた。これが踊りのとりことなった原点であるらしい。

そして本格的に民踊を始めたのは、青年団に入ってから。既にこの頃には、各地の演芸会を見るのが楽しくて、どこの演芸会に行っても、最後まで見物して上手な人の顔もきちんと覚える程に熱中。そうこうするうちに市の体育指導員となり、民踊を習ったり、逆に指導するようになった。

今は新潟県民踊指導者連盟、穂波会に所属、片貝民踊の会々長を務める。練習は最低でも月7回、各種発表会や大会出場ともなるとグンと増え、それこそ毎晩のように〝民踊漬け〟となる。毎年夏になると盆踊りのために中学生に指導、近年の中学生はあまり上手くないので頭を痛めることも多いとか。その他敬老会や一人暮らし老人の昼食会などで披露のボランティア活動にも積極的に取り組んでいる。

民踊の魅力はまずは踊っていて楽しいこと。一晩中踊っていても楽しいと言う程だ。しかし、単純な動作の中にも難しいものがあり、他人が見ていてもあきさせない踊りとなるとなかなか難しい、とその奥の深さを語り、これからの抱負についても「佐渡おけさ、相川音頭、越中おわら等をいかに上手に踊れるかに挑むこと」ときっぱり。

民踊の他には将棋、かけ足を趣味とする。

読みきかせ
11月の予定

小学校低学年を主な対象に、絵本や紙芝居の読みきかせのボランティア実施の「読みきかせ会」の11月の活動予定は、5日(金)午後3時30分～、13日(土)午前10時～、19日(金)午後3時30分～の、三回いずれも片貝ふるさと会館で開催。

あつめま～す
リサイクル

リサイクル資源の再利用を目指して地道な活動をしている、リサイクルかたかいは、7日(日)午前9時から9時30分まで、今年最後の収集活動を片貝支所前で実施する。発泡スチロールトレイ、乾電池、ボロ布、新聞紙、ダンボールなど。

ハローベイビー

○門倉準汰（じゅんた）ちゃん（屋敷）

パパ千秋さん（26才）

ママ真美さん（27才）

第1子長男

平成10年8月15日生

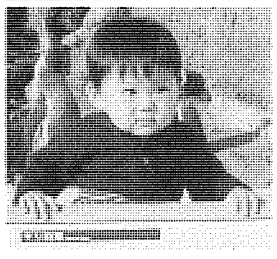
現在の体重9kg身長73cm

Q名前の由来

A由来はなく、呼んだときの、響きで決めました。

Qお子さんの様子

A起きている間は、じっとしていることが無い位に動き回って遊んでいます。



Qどんな子に育って欲しいですか

A健康ですなおな子に、育ってほしいと思います。